

(様式1)

## 北海道帯広農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
I グローバル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)ICT を活用した資格取得・検定合格支援の充実 (2)高大・産業界連携による探究的な学びの深化	A B	・ICT教材(動画・Web演習)を導入し、日本農業技術検定等の合格率を前年度より5%向上させる。 ・大学や研究機関と連携した専門的な実習を年間2回以上実施し、プロジェクト学習の質を高める。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1)海外研修の機会拡大とオンライン交流の推進 (2)GAP 認証を基盤とした持続可能な農業経営の実践	B A	・海外農業研修の機会拡充し、多様な文化理解を促進する。 ・GAP 管理データを活用した授業展と持続可能な農業モデルを地域へ発信する。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地域農家・産業界と連携した高度な生産技術の習得 (2)HACCP の考え方を取り入れた衛生・安全管理の実践	B A	・地域農家でのインターンシップを拡充し、現場の即戦力となる知識・技術を習得する。 ・生徒主体で HACCP に基づく衛生管理マニュアルを作成し、製造実習に100%適用する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)データに基づく商品開発とマーケティング力の育成 (2)ICT を活用した多角的な販売・販促活動の強化	B A	・市場調査データを活用し、ニーズに基づいた新商品を年間2品以上開発・製品化する。 ・SNS や EC サイト、地元小売店を連動させた販促活動を月1回以上実施し、地域ブランド力を高める。
III 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)資源循環型農業の推進と施設設備の効率的運用 (2)体系的な環境教育カリキュラムの構築	A B	・堆肥化施設の維持管理を徹底し、資源循環効率を前年度より向上させる。 ・3年間を通じた環境教育の体系化を図り、地域環境保全活動への全学的な参加を推進する。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)スマート技術を活用した林業教育の高度化 (2)地域交流イベントの継続的な運営体制の確立	B A	・ドローンやGPSを活用した森林管理実習を導入し、効率的な施業計画の策定を学ぶ。 ・地域住民向けの講座や収穫祭等のイベントを継続し、食農教育を推進する。
IV 拠点となる学校	7 「Society5.0 の時代に応じた教育」を行います。	(1)スマート農業機器の導入拡大とデータ分析力の育成 (2)地域課題を解決するプロジェクト型学習の推進	B A	・センサーや自動操舵トラクタ等の実機操作実習を拡充し、収集データの解析実習を行う。 ・地元企業と連携し、スマート技術を用いて地域の農業課題を解決する実証実験を行う。
V 推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)災害に強い農林業の実践と地域防災体制の構築 (2)スマート技術を活用した危機管理能力の向上	B A	・風雪害等に強い栽培技術の研究を行い、地域の防災組織と連携した共同訓練を年1回実施する。 ・監視カメラやセンサーを活用した農場・施設の安全管理システムを運用し、危機管理を強化する。